



道徳の足あと



運動会が無事に終わりました。私たち 2 年生の学年競技は大縄でしたね。「みんなでとんだ!」は、2 年 1 組が運動会で勝つことを目的とするか、みんなでとぶことを重視するか……、そのことをクラスで、真剣に話し合うお話でした。

議論の末、2 年 1 組は、みんなでとぶことを選択しました。そして、「最高ビリ! 最高の 2 年 1 組!」となりました。クラスにとって、大切なことは何なのか。私たちが自分のクラスを「最高のクラス!」と言えるようになるためには、どうしたらよいか、深く考えさせられる内容でした。

「みんなでとんだ!」



・クラスで出た意見で「1 人はみんなのために、みんなは 1 人のために」という考えにとっても納得しました。一人一人が誰かのために行動することで、クラスが一丸となり協力し頑張れるからです。これからの運動会に向けてクラスの在り方をもう一度見直すことができました。

・今日の学習を通して、大縄があまり得意じゃなくて、引っかかってしまう人がいても、その人を責めるのではなく、アドバイスをしたり、跳ぶ場所を変えてみたり、みんなで協力して、みんなで大縄を跳べるように頑張っていきたいです。

・運動会前に、この学習ができてよかったです。練習の時にうまくいかず、空気が悪くなったこともあったけれど、全員で声掛けをして、少しずつ協力して跳べるようになりました。もし、自分のクラスが最下位になってしまっても、「最高だった!!」と言えるように、心を一つにして練習から本番まで頑張りたいです。

・今日の学習を通して、結果も大事だけど、その過程も大事だと改めて思いました。どんなに良い結果を残したとしても、その過程で人を傷つけたりズルをしたりしたら、後から自分たちは本当に優勝なのか? これ为本当に良かったのか? と後悔してしまうからです。だからこそ、過程が大事だと感じました。

・今日の学習を通して、自分のクラスの大縄がたくさん跳べたからいい、ぜんぜん跳べなかったから悪いではなく、みんなで跳んだからいいになったらうれしいと思った。

・私はこれまでずっと勝ち負けばかり気にしており、「勝つためなら、跳ばない人がいてもいい。」そんなことを今まで思っていました。けど、この話を読んでみて、みんなで跳ぶことは、勝ち負けよりも大切だと思いました。矢部ちゃんのクラスは、1 位をとれなかったけど「みんなで跳ぶ」ことが大切だったのだとわかりました。多分、ビリの瞬間、「2 年 1 組」は、世界一盛り上がっていたと思います。

・この学習を通して、クラスで協力したり努力したり認め合うことで良いクラスになるとわかりました。これからもっと良いクラスになるようにしたいです。



・今日の学習を通して、勝ち負けより大切な物事があるというのがわかりました。みんなの意見を押し付けるのではなく、しっかり本人の意見も聞いて話を進めていて、矢部ちゃんのことをちゃんとしたクラスメイトと思っているんだなと思いました。私も何か話し合いをするときに賛成意見ばかりではなく反対の意見の方もしっかり聞くようにしたいです。